

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への参加・協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に参加・協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

医療観察法入院対象者における、HCR-20version3 と SAPROF の予測妥当性と有用性に関する研究: 前方視的コホート研究(多施設共同研究)

【研究責任者】

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 司法精神医学研究部
研究代表者 菊池安希子

【本研究の目的及び意義】

暴力などの問題行動は、対象者の方の早期の退院や社会復帰を妨げることが知られているため、こういった問題行動が起きやすくなる状況や状態について具体的にチェックして、問題解決をすすめていくことが大切です。また、問題点ばかりに着目するのではなく、対象者の方のストレングス(強み)にも着目して、良い部分を伸ばし、将来の問題行動のリスクを軽減させるように働きかけることも大切です。このようにリスクのみならず、リスクを軽減させる要因にも着目してバランスの良いリスク・アセスメントを実施し、対象者の方の安全で質の高い社会復帰を促進することの一助になることが本研究の目的です。

この研究のために、複数の医療観察法指定入院医療機関に入院中の方々のうち、下記の条件を満たす方々に研究へのご協力をお願いしております。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

- 2017年5月1日より2017年2017年11月31日までの間に、
- 1)医療観察法病棟に入院している20歳以上の方で、入院1年以内の方
 - 2)研究への参加の同意が得られ、担当多職種チームが研究参加を許可した方

利用する試料・情報等

試料:HCR-20V3、SAPROF、アンケート(抑うつ、不安、自己効力感、犯罪親和性、共感性についての質問が含まれています)

情報等:精神鑑定書、生活環境調査書、診療録より、年齢、性別、対象行為、入院日、調査開始時点までの入院期間、診断名

研究期間

倫理審査承認後 2016年11月15日より2020年3月31日まで

【個人情報の取扱い】

あなたから提供された情報等の研究データは個人を特定できない形式にして管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

20XX 年〇月

【本研究への参加・協力を望まない場合】

本研究に際し、ご自分のデータを収集しないことを希望する場合は、平成 30 年〇月〇日～〇月〇日の期間中に担当の社会復帰調査調整官に申し出てください。データ収集期間を過ぎますと、どれがあなたのデータなのかを特定することが不可能になりますので、削除ができなくなります。本研究へのデータ収集を拒否しても、通院処遇中、不利な扱いを受けることはありません。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
所属 司法精神医学研究部 氏名 菊池安希子
e-mail: akikuchi※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)